



## 2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年10月27日

上場会社名 神奈川中央交通株式会社  
コード番号 9081 URL <https://www.kanachu.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 今井 雅之

問合せ先責任者 (役職名) 経営戦略部IR担当課長 (氏名) 村山 大輔

TEL 0463- 22- 8894

四半期報告書提出予定日 2023年11月13日

配当支払開始予定日

2023年11月22日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	56,885	13.6	3,836	52.2	4,013	47.5	2,564	32.4
2023年3月期第2四半期	50,091	4.2	2,520	534.1	2,720	135.0	1,937	182.8

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 5,684百万円 (326.6%) 2023年3月期第2四半期 1,332百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	209.01	
2023年3月期第2四半期	157.90	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	154,767	58,315	34.5
2023年3月期	150,568	52,879	32.0

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 53,420百万円 2023年3月期 48,235百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		20.00		20.00	40.00
2024年3月期		20.00			
2024年3月期(予想)				20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	109,500	5.4	4,790	10.8	4,770	2.9	3,040	164.5	247.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	12,600,000 株	2023年3月期	12,600,000 株
期末自己株式数	2024年3月期2Q	328,498 株	2023年3月期	328,383 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	12,271,584 株	2023年3月期2Q	12,271,724 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料はTDnetで同日開示しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善する中で個人消費が緩やかに増加し、持ち直しの動きが見られました。一方、資源価格高騰に伴う物価上昇や円安の進行など先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループ各社は、各部門において積極的な営業施策を図るとともに、経営の効率化に努めた結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、56,885百万円（前年同期比13.6%増）、営業利益は3,836百万円（前年同期比52.2%増）、経常利益は4,013百万円（前年同期比47.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、2,564百万円（前年同期比32.4%増）となりました。

セグメントの業績の概況は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、従来の報告セグメントである「一般旅客自動車運送事業」を「旅客自動車事業」に名称変更しております。また、当該セグメントに含まれる「乗合事業」「貸切事業」および「乗用事業」を「乗合バス事業」「貸切バス事業」および「タクシー事業」にそれぞれ変更しております。この変更がセグメント情報に与える影響はありません。

#### (旅客自動車事業)

乗合バス事業においては、商業施設「ジ アウトレット湘南平塚」の開業に伴い、4月に平塚駅北口および本厚木駅南口～ツインシティ大神間を結ぶ新系統の運行を開始し新たな需要に対応いたしました。また、子育て世代応援の取り組みとして小児IC運賃の一律50円を開始したことや、7月に当社全路線（当社横浜市均一運賃区間等を除く）にて運賃改定を実施するとともに、通学定期券の割引率引き上げを行うなど利用促進を図ったことにより増収となりました。

タクシー事業においては、神奈中タクシー(株)にて新型コロナウイルス感染症が感染症法上「5類」へ引き下げられたことで、夜間を中心に旅客需要の回復が見られたことにより増収となりました。

貸切バス事業においては、神奈中観光(株)にて旅行需要の回復に伴い旅行エージェントからの受注が増加したことに加え、前期に獲得した契約輸送が通期寄与したことなどにより稼働率が向上し増収となりました。

以上の結果、旅客自動車事業全体の売上高は27,302百万円（前年同期比10.1%増）、営業利益は1,340百万円（前年同期比237.4%増）となりました。

#### (不動産事業)

賃貸事業においては、前期に賃貸を開始した「神中本藤沢物流センター」や「アドベル明石町ビル」が通期寄与したことなどにより増収となりました。

分譲事業においては、デベロッパーとのマンション分譲共同事業による藤沢市羽鳥の「プレミスト湘南辻堂」が前期に完売し、販売戸数が減少したことにより減収となりました。

以上の結果、不動産事業全体の売上高は2,833百万円（前年同期比7.3%減）となりましたが、賃貸事業の増収により営業利益は1,416百万円（前年同期比0.1%増）となりました。

#### (自動車販売事業)

商用車販売事業においては、神奈川三菱ふそう自動車販売(株)にてトラック・バスの販売台数が増加したことに加え、既存のお客さまに対する車検や点検等メンテナンスの営業活動に努め、車両整備が増加したことにより増収となりました。

輸入車販売事業においては、神奈中相模ヤナセ(株)にて高価格帯の新車販売台数が増加したことなどにより増収となりました。

以上の結果、自動車販売事業全体の売上高は16,953百万円（前年同期比33.2%増）、営業利益は749百万円（前年同期比54.8%増）となりました。

#### (その他の事業)

情報サービス事業においては、(株)神奈中情報システムにてドライブレコーダなどバス車載器の販売が増加したことなどにより増収となりました。

商用車架装事業においては、横浜車輛工業(株)にて半導体不足の一部解消に伴いメーカーの生産台数が回復し、受注が増加したことなどにより増収となりました。

レジャー・スポーツ事業においては、(株)神奈中スポーツデザインにて4月に学童施設「ASHITA∞キッズ神奈中本厚木」を開業し会員獲得に努めましたが、不採算店舗を閉店したことなどにより減収となりました。

資源活生事業においては、(株)アドベルにて取引先におけるリサイクル品の需要が低下したことにより減収となりました。

飲食・娯楽事業においては、前期に営業譲受した「ドトールコーヒーショップ」の8店舗が通期寄与したことなどにより増収となりました。

ホテル事業においては、宿泊部門にて稼働率が上昇したことや価格改定を実施したことに加え、宴会部門にて利用組数が増加したことなどにより増収となりました。

以上の結果、その他の事業全体の売上高は14,263百万円（前年同期比6.3%増）、営業利益は461百万円（前年同

期比65.9%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の変動状況

総資産は、有形固定資産が減価償却により減少しましたが、投資有価証券の時価評価額が増加したことや、商品及び製品が増加したことなどにより、前期末に比べて4,198百万円増加し、154,767百万円となりました。

負債は、旅客自動車事業において前受収益が増加したものの、借入金の返済が進んだことなどにより、前期末に比べて1,237百万円減少し、96,451百万円となりました。

また、純資産は、その他有価証券評価差額金や利益剰余金が増加したことなどにより、前期末に比べて5,435百万円増加し、58,315百万円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益3,742百万円に減価償却費などを加減した結果、6,562百万円の資金収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の取得による支出1,659百万円などにより、1,651百万円の資金支出となりました。

また、財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の返済による支出などにより、4,742百万円の資金支出となりました。

これらの結果、現金及び現金同等物の当第2四半期末残高は、前連結会計年度末に比べて168百万円増加し、2,789百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期通期連結業績予想につきましては、概ね計画通りに推移していることから、現時点において2023年4月27日発表の数値から修正しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,829	2,999
受取手形、売掛金及び契約資産	9,499	9,694
商品及び製品	9,165	11,161
仕掛品	74	51
原材料及び貯蔵品	527	547
その他	3,139	2,502
貸倒引当金	△29	△42
流動資産合計	25,205	26,915
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	93,558	93,705
車両運搬具	39,841	39,961
土地	62,818	62,841
その他	22,051	20,915
減価償却累計額	△111,111	△111,869
有形固定資産合計	107,158	105,555
無形固定資産	932	967
投資その他の資産		
投資有価証券	14,649	18,767
その他	2,637	2,574
貸倒引当金	△14	△13
投資その他の資産合計	17,271	21,329
固定資産合計	125,363	127,851
資産合計	150,568	154,767
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,474	7,190
短期借入金	18,079	15,281
未払法人税等	856	935
賞与引当金	2,230	2,051
その他	14,811	17,293
流動負債合計	43,452	42,752
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	16,471	15,495
役員退職慰労引当金	2	2
退職給付に係る負債	3,797	3,752
その他	13,965	14,447
固定負債合計	54,236	53,698
負債合計	97,689	96,451

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,160	3,160
資本剰余金	723	723
利益剰余金	41,429	43,749
自己株式	△938	△938
株主資本合計	44,375	46,694
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,768	6,641
退職給付に係る調整累計額	91	85
その他の包括利益累計額合計	3,860	6,726
非支配株主持分	4,643	4,894
純資産合計	52,879	58,315
負債純資産合計	150,568	154,767

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高		
旅客自動車事業営業収益	24,691	27,201
不動産事業売上高	3,055	2,830
その他の事業売上高	22,344	26,852
売上高合計	50,091	56,885
売上原価		
旅客自動車事業運送費	21,731	23,114
不動産事業売上原価	1,270	1,019
その他の事業売上原価	18,066	22,275
売上原価合計	41,068	46,409
売上総利益	9,023	10,475
販売費及び一般管理費		
販売費	4,279	4,271
一般管理費	2,223	2,368
販売費及び一般管理費合計	6,502	6,639
営業利益	2,520	3,836
営業外収益		
受取配当金	176	226
助成金収入	145	104
その他	93	66
営業外収益合計	416	397
営業外費用		
支払利息	171	163
その他	44	57
営業外費用合計	215	220
経常利益	2,720	4,013
特別利益		
固定資産売却益	2	7
補助金収入	—	36
その他	0	16
特別利益合計	3	61
特別損失		
固定資産除却損	29	151
固定資産圧縮損	—	44
減損損失	10	128
その他	1	7
特別損失合計	41	332
税金等調整前四半期純利益	2,683	3,742
法人税、住民税及び事業税	582	929
法人税等調整額	29	23
法人税等合計	612	953
四半期純利益	2,070	2,789
非支配株主に帰属する四半期純利益	132	224
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,937	2,564



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	2,070	2,789
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△560	2,900
繰延ヘッジ損益	△168	—
退職給付に係る調整額	△8	△5
その他の包括利益合計	△738	2,895
四半期包括利益	1,332	5,684
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,192	5,430
非支配株主に係る四半期包括利益	139	253

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,683	3,742
減価償却費	3,012	2,604
減損損失	10	128
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△252	△178
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	0	11
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△57	△48
受取利息及び受取配当金	△177	△228
支払利息	171	163
持分法による投資損益 (△は益)	20	8
固定資産除売却損益 (△は益)	△0	△4
固定資産圧縮損	—	44
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△8
売上債権の増減額 (△は増加)	△442	△203
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,616	△1,989
仕入債務の増減額 (△は減少)	639	△274
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△497	658
預り保証金の増減額 (△は減少)	△102	△157
差入保証金の増減額 (△は増加)	406	△1
その他	2,141	3,056
小計	5,939	7,322
利息及び配当金の受取額	184	235
利息の支払額	△150	△140
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△588	△854
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,384	6,562
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△100	△106
定期預金の払戻による収入	100	104
固定資産の取得による支出	△3,657	△1,659
固定資産の売却による収入	2	8
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
投資有価証券の売却による収入	—	9
投資有価証券の償還による収入	2	—
短期貸付けによる支出	△2	△2
長期貸付けによる支出	△1	△1
長期貸付金の回収による収入	0	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,658	△1,651
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,606	△1,997
リース債務の返済による支出	△792	△721
長期借入れによる収入	—	800
長期借入金の返済による支出	△2,354	△2,576
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△245	△245
非支配株主への配当金の支払額	△2	△2
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,789	△4,742
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△63	168
現金及び現金同等物の期首残高	3,404	2,621
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,341	2,789

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他の 事業	計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	旅客自動車 事業	不動産事業	自動車 販売事業				
売上高							
外部顧客への売上高	24,691	3,055	12,416	9,928	50,091	—	50,091
セグメント間の内部 売上高又は振替高	102	2	310	3,494	3,910	△3,910	—
計	24,794	3,057	12,726	13,423	54,001	△3,910	50,091
セグメント利益	397	1,415	483	278	2,575	△54	2,520

(注)「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、流通事業、飲食・娯楽事業、ホテル事業等を含んでおります。

II 当第2四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他の 事業	計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	旅客自動車 事業	不動産事業	自動車 販売事業				
売上高							
外部顧客への売上高	27,201	2,830	16,586	10,266	56,885	—	56,885
セグメント間の内部 売上高又は振替高	100	2	367	3,996	4,467	△4,467	—
計	27,302	2,833	16,953	14,263	61,352	△4,467	56,885
セグメント利益	1,340	1,416	749	461	3,967	△131	3,836

(注)「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、流通事業、飲食・娯楽事業、ホテル事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、従来の報告セグメントである「一般旅客自動車運送事業」を「旅客自動車事業」に名称変更しております。この変更がセグメント情報に与える影響はありません。

また、これに伴い前第2四半期連結累計期間のセグメント情報も変更後の名称で表示しております。